



# よ つ ば

平成27年月5月27日（水）NO. 11（発行者：奥長）

本時は「動いて、考えて、また動く」の第六時。前時までには説明文の読み取りを行い、本時では興味をもったところを発表し、筆者が最も伝えたいことを再確認したうえで、筆者と同じような「動いて、考えて、また動く」体験を話し合った。

ループリック

指導者

A 興味を持ったところを理由をつけて発表でき、筆者の体験と同じ自分の体験を伝えることができる。

「理由をつけて発表」をAとするか、Bとするかの吟味が単元によって、必要だということが実践を積み重ねる中で、見えてきました。今後の授業の中で、検討していきましょう。（井上）

（メモ）  
自分にとって最高の走り方を見つけることが来た気がします。のところ。  
（理由）なぜなら自分にとって最高の走り方を見つけることで、「も」とがんばろう、「また考え」と、「走り方を見つけよう」など勇気が出てくると思ったから。  
（きょうみをもったところを発表しよう）  
・筆者が伝えた、こと  
・速く走るための工夫

興味をもったところを見つけ、その理由もかけている。理由もつけて発表できている児童がたくさんいた。

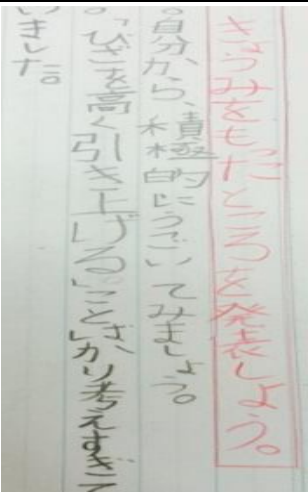
筆者の体験と同じ自分の体験を伝えることができる児童はほとんどだった。体験を伝えるときに、筆者が文章中で使っていた表現になぞらえながら発表できている児童もいた。

B 興味を持ったところを発表でき、筆者の体験と同じ自分の体験を伝えることができる。

きょうみをもったところを発表しよう。  
そうして成功や失敗をくり返し、工夫を重ねていくことであなたにできない方法がきっと見がるはずだ。

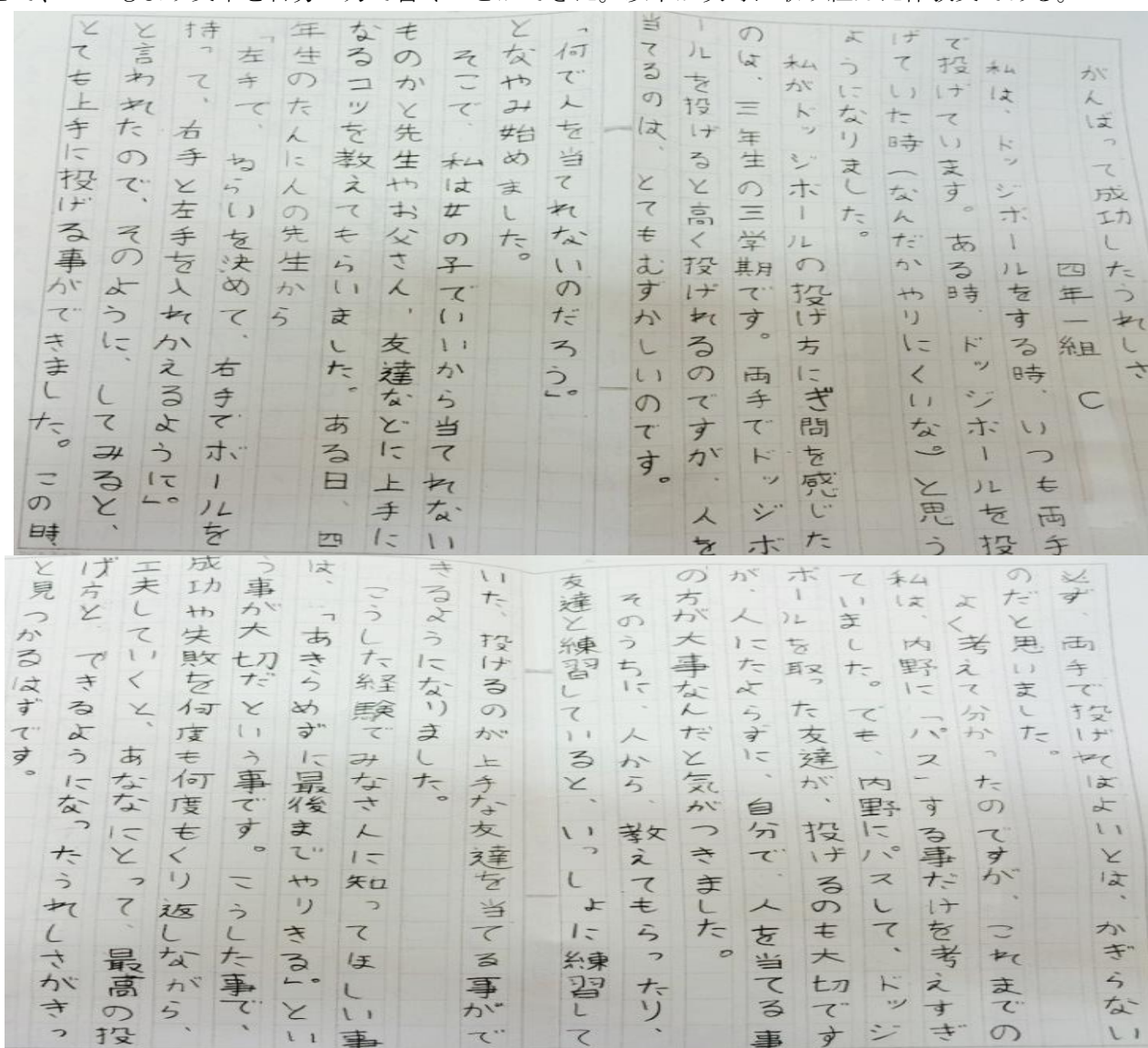
興味をもったところは見つけることができたが、理由をつけて書くことができない児童が数名いた。

筆者の体験と同じ自分の体験を伝えることができる児童はほとんどだった。

C	興味を持ったところを発表することができず、筆者と同じ体験を伝えることができない。		<p>興味を持ったところ見つけ書くことができたが、理由を書くことができなかった。</p> <p>筆者と同じ体験をグループで発表するときに発表できない児童は1名いた。一緒にゆっくり考えていくと、詳しい内容は言えなかったが、「なわとびのこと…」と最後にグループのみんなに伝えることができた。</p>
---	------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今回の授業では、主に自分の体験を話し合う活動が中心になってしまい、あまり説明文の学習が取り入れられなかった。それまでに、文章の内容の読み取りや、段落相互の関係を考えることを学習した。今回の授業をするならば、単元の最初に行い、文章構成を考える難しさを知ってから、筆者はどのように上手に書いているのかを文章を読みとりながら学習を進めてはどうかとアドバイス頂いた。単元目標に向けて毎時間の組み立てを行うようにしていく。

本時で話し合ったことを元に、次時の授業では、自分の体験を筆者のように、中で事例を挙げながら伝える文章を書く学習をした。文章構成を考えるとときに思考ツールを使うと考えやすいとアドバイス頂いたので、思考ツールを使って文章構成を考えてから書いた。普段文章を書くことが苦手な児童も思考ツールを使って構成を考えることで、いつもより文章を自分の力で書くことができた。以下が次時に取り組んだ体験文である。





# スポーツチャンバラ必勝法

四年一組 D

ぼくは、スポーツチャンバラの選手です。ある日、おちにま、た初めてのスポーツチャンバラのし合をした時に、全、た、く、勝、て、な、い、と、に、気、が、つ、き、ま、し、た。も、っ、と、勝、て、な、い、か、と、お、も、い、ま、し、た。

そこで、ぼくは、少しでも勝てないかと考えました。あるとき、「か、こ、た、り、う、で、の、ふ、り、を、速、く、す、る、と、い、う、な、る、の、か、ら、と、思、い、つ、き、ま、し、た。次のし合のためしてみると、すばらしい結果が出せました。このとき必ずしもこうげきをやるだけでは、勝てないのだと思ひました。

後から、か、た、の、で、す、が、こ、れ、ま、で、の、ぼ、く、は、つ、う、げ、き、す、る、こ、と、大、け、を、考、え、て、い、ま、し、た、し、か、に、つ、う、げ、き、す、る、こ、と、は、大、切、で、す。め、で、あ、り、た、だ、け、ん、を、ふ、り、ま、わ、す、こ、と、に、意、を、

があるわけでは、ないのです。もう一つのうでのふりのことについては、それからは、く、し、て、べ、つ、の、発、見、を、し、ま、し、た。

スポーツチャンバラでは、大きくふりがふり功げきすることが多いです。うでのふりを速くすること、大きくふりがぶることなく、こうげき、よ、り、勝、ち、へ、て、進、み、ま、す。

また、もう一つの「足ぶき上げ」については、く、し、ば、く、し、て、ま、た、べ、つ、の、発、見、を、し、ま、し、た。長、人、へ、い、め、い、の、け、ん、で、は、長、さ、

が長いので、ま、わ、い、う、近、ず、き、る、と、足、を、う、た、れ、て、し、ま、い、ま、す。へ、い、う、で、す、が、足、を、い、て、こ、う、げ、き、す、る、こ、と、で、ま、た、勝、ち、へ、て、進、み、ま、す。

リズムも大切です。リズムがな、い、と、タイ、ム、グ、が、ず、れ、て、負、け、て、し、ま、し、ま、す。で、ま、が、リ、ズ、ム、を、よ、く、す、る、こ、と、で、一、定、の、タイ、ミ、ン、グ、で、功、げ、き、す、る、こ、と、が、で、き、ま、た、勝、ち、へ、て、進、み、ま、す。

このように、自、分、に、つ、いて、最、高、の、戦、い、ち、を、見、つ、け、る、こ、と、が、で、き、る、の、で、す。 四、二、

# 私と弟のトマトくん

四年一組 B

私は家で弟といっしょにトマトを育てています。

ある日、水やりを、こ、い、る、と、少、し、か、れ、て、い、ま、し、た。「だいじょうぶ」と思い、放、つ、て、い、る、こ、ど、ん、ど、ん、か、れ、て、い、く、だ、け、で、し、た。

これはだめだと思、い、ま、し、た。いろいろな本を、図、書、館、に、見、ま、し、た。

まず出て来た本、は、水、が、た、り、な、い、こ、う、づ、ん、い、ん、ど、し、た。これまでは、ポ、ット、ボ、ー、ル、の、半、分、ど、し、た、が、ポ、ット、ボ、ー、ル、一、本、分、あ、げ、る、こ、と、に、し、ま、し、た。

そうして一週間後、こ、し、か、れ、が、ま、し、に、な、り、ま、し、た。す、ご、く、う、れ、し、く、て、弟、と、ハイ、タ、ツ、チ、次、に、場、所、を、変、え、て、み、よ、う、と、思、い、つ、い、た、の、で、す。

今までは日かげに置いて、い、ま、し、た、が、本、に、う、り、か、け、よ、り、日、な、た、の、は、う、か、よ、く、育、つ、と、思、い、ま、し、た。

いてあ、た、の、で、す。そして日なたに位置を、変、え、て、し、ば、く、す、る、と、元、に、も、ど、た、の、で、す。

このように自分で調べて、た、め、す、と、ト、マ、ト、の、気、持、ち、も、分、か、る、の、で、す。